

平成 24 年度第 11 回 山陰労災病院治験審査委員会 会議の記録の概要

開催日時	2013 年 2 月 12 日（火） 17:00～17:42
開催場所	山陰労災病院 3 階会議室
出席委員名	岸本幸廣、福谷幸二、小野公誉、池上英文、應本千恵、前田正規、森田一大、片山康雄、岡本勝
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	【審議事項】 議題① 日本イーライリリー株式会社の依頼によるアリムタの副作用・感染症報告 ・安全性情報調査票等提出された資料に基づき、製造販売後調査実施の妥当性について審議した。 審議結果：承認 議題② アステラス製薬株式会社の依頼による関節リウマチ患者を対象とした CDP870 の MTX 併用時の第Ⅳ相長期安全性試験 ・添付文書の追加、説明文書・同意文書の変更、治験・製造販売後臨床試験実施計画書別添資料 2 の変更について、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。 ・当該試験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認 議題③ アステラス製薬株式会社の依頼による関節リウマチ患者を対象とした CDP870 の MTX 非併用時の第Ⅳ相長期安全性試験 ・添付文書の追加、説明文書・同意文書の変更、治験・製造販売後臨床試験実施計画書別添資料 1 の変更について、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。 ・当該試験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認 議題④ アステラス製薬株式会社の依頼による早期関節リウマチ患者を対象とした CDP870 の第Ⅲ相試験 ・当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・治験薬概要書の変更、説明文書・同意文書の変更、治験実施計画書別添資料 1、の変更、契約内容の変更について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・当該治験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認 議題⑤ 武田薬品工業株式会社の依頼による NSAID 長期投与を必要とする胃・十二指腸潰瘍既往患者を対象とした TAK-438 の第Ⅲ相試験 ・当該治験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認 議題⑥ 武田薬品工業株式会社の依頼による NSAID 長期投与を必要とする胃・十二指腸潰瘍既往患者を対象とした TAK-438 の第Ⅲ相長期継続投与試験 ・当該治験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認

	議題⑦ 生化学工業株式会社の依頼による腰椎椎間板ヘルニア患者を対象とした SI-6603 の第Ⅲ相試験 ・ 治験実施計画書の変更について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認 議題⑧ 中外製薬株式会社の依頼によるミルセラ注の特定使用成績調査 ・ 契約内容の変更について、引き続き製造販売後調査を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認
その他	議題① 平成 24 年度第 10 回治験審査委員会（2013 年 1 月 8 日開催）分の会議の記録の概要について ・ 内容が確認され、当院ホームページに公表することが了承された。